

# 外科専門医研修ネットワークプログラム

## 1 はじめに

プログラムリーダー 静岡医療センター 院長 梅本琢也

全国的に外科医の志望者が減少しているようです。またいわゆる外科手術にかわって内視鏡手術やカテーテル手術が増加してきています。しかし、いくつかの疾患の治療において外科手術は今でもゴールドスタンダードであり、外科専門医は消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科などの専門分野へ進むためにも必須の資格であります。初期研修では十分感じることができなかったかもしれない外科の魅力を満喫してください。



## 2 特徴

静岡県東部の急性期病院が連携し、お互いの特徴を活かした研修ができるようになっています。地方の一施設ではなかなかクリアできない専門医合格のための実務経験が、いくつかの施設を回ることで非常に短期間で経験できます。

静岡県立静岡がんセンターは全国的にも高い診療レベルを誇っており、通常は正規のレジデントのみしか受け入れていませんが、東部の外科専門医研修プログラム参加者に限り特別に短期間の研修を認めていただきました。

静岡県東部は富士・箱根・伊豆に近く、よく学びよく遊ぶには絶好の環境だと思います。地元出身者以外の方も大歓迎です。是非このプログラムに参加し、外科医への第一歩を踏み出してください。

## 3 目的

このプログラムは外科医を志望する後期研修医が、静岡県東部の病院をローテーションしつつ短期間で必修項目を経験し、外科専門医試験に合格することを目的としています。

## 4 目標

外科専門医の到達目標が期間内に全て達成できることを目標とします。

1. 外科診療に必要な基礎的知識を習熟し、臨床応用できる。
2. 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、それらの臨床応用ができる。
3. 一定レベルの手術を適切に実施できる能力を修得し、その臨床応用ができる。
4. 外科診療を行う上で、医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身に付ける。
5. 外科学の進歩に合せた生涯学習を行う方略の基本を修得し実行できる。

## 5 研修カリキュラム

日本外科学会の『外科専門医修練カリキュラム』に準じる（平成21年4月1改定）。

別添『外科専門医修練カリキュラム』

## 6 研修例

下記の例を参考に個別の相談に応じ、自由に組み合わせることができます。

### 【例】

|     | 4月       | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月     | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----------|----|----|----|----|----|---------|-----|-----|----|----|----|
| 1年目 | 静岡医療センター |    |    |    |    |    |         |     |     |    |    |    |
|     | 一般外科     |    |    |    |    |    | 心臓・血管外科 |     |     |    |    |    |

|     | 4月     | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月   | 2月 | 3月    |
|-----|--------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|------|----|-------|
| 2年目 | 沼津市立病院 |    |    |    |    |    |     |     |     |      |    |       |
|     | 一般外科   |    |    |    |    |    |     |     |     | 小児外科 |    | 呼吸器外科 |

|     | 4月          | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月        | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|-------------|----|----|----|----|----|------------|-----|-----|----|----|----|
| 3年目 | がんセンター      |    |    |    |    |    | 富士宮市立病院    |     |     |    |    |    |
|     | 胃外科、肝・胆・膵外科 |    |    |    |    |    | 一般外科・呼吸器外科 |     |     |    |    |    |

## 7 研修病院群

### 認定施設・関連施設

#### 医療法人社団 熱海所記念病院（外科学会関連施設）

外科指導医 2名、消化器外科専門医 2名

検査から手術まで一貫した治療をおこなっており、消化器手術、呼吸器手術、乳腺、甲状腺手術に対応しています。平成24年に静岡県から急性期医療の表彰を受けました。

- ・内視鏡手術：食道、胃、大腸の粘膜剥離術、胆管結石除去術、胆管・膵癌のステント治療、胃内バルーン挿入法
- ・腹腔鏡手術：胃、大腸、胆のう、虫垂疾患、SILS（単孔式腹腔鏡手術）の導入
- ・胸腔鏡手術：気胸や肺がんを対象とした胸腔鏡手術
- ・抗がん剤治療：各種がん、悪性リンパ腫の外来化学療法
- ・血管内治療：血管造影による動脈塞栓術
- ・食事療法：ゲルソン療法を中心とした指導

#### 静岡県立静岡がんセンター

外科指導医 10名

消化器外科専門医 21名、呼吸器外科専門医 4名

静岡県立静岡がんセンターは、全床開床時615床、都道府県がん診療拠点病院、特定機能病院の資格を有するがんの高度医療機関です。

当センターの外科領域は、呼吸器外科、食道外科、乳腺外科および乳がん集学治療科、胃外科、肝・胆・膵外科、大腸外科に専門分化し、それぞれが先進的ながん医療・がん研究を展開しています。患者の視点を重視した多職種チーム医療を推進し、カンサーボードをはじめとして、様々な職種を交えた合同カンファランスを活発に行っています。

進行癌に対する高難度な手術とともに、乳腺外科を除く各科では、腹腔鏡または胸腔鏡下手術を積極的に行っています。ダヴィンチを2台有し、大腸外科と胃外科は、ダヴィンチ手術ではわが

国でトップの手術件数を誇っています。さらに、平成 26 年 3 月から呼吸器外科もダヴィンチ手術を開始しました。

平成 26 年 1 年間の手術件数は、呼吸器外科 362 件、食道外科 54 件、乳腺および乳がん集学治療科 419 件、胃外科 489 件、肝・胆・膵外科 336 件、大腸外科 625 件です。

### 医療法人社団宏和会 岡村記念病院

外科指導医 3 名

心臓血管外科専門医 2 名

1983 年に開院した心臓循環器専門病院です。循環器内科、心臓血管外科と麻酔科がありますが、循環器内科は冠動脈や末梢血管のインターベンションや不整脈アブレーションなどのカテーテル治療、ペースメーカー植込みなどを中心とした観血的治療を行っております。心臓血管外科は 3 名です。2014 年実績では開心術 137 件、開腹術 19 件、その他末梢血管手術 186 件を行っております。詳しくは、当院ホームページを御覧ください。手術はより安全性に重点を置き麻酔科と連携し、胸部・腹部のグラフト置換術や末梢血管のレーザー治療も行っています。循環器に特化しておりますが、外科専門医取得のため、心血管の症例が足りない時などお役に立てるかと思えます。

### 国立病院機構 静岡医療センター

外科指導医 5 名

消化器外科専門医 4 名、心臓血管外科専門医 3 名

当院は急性期病院としてがん・循環器・救急・総合診療を 4 本柱として掲げ、診療に当たっています。外科では一般・消化器外科の研修が可能で、いずれも症例は豊富であり、複数の指導医による指導が受けられます。病院全体としては特定の大学医局とのつながりはなく、現在 10 以上の大学出身者が集まっています。各科との連携も良く、他科とのカンファレンスを通じて幅広い見聞を得ることが可能です。国立病院機構の一員であり、東海北陸ブロックや機構本部での研修にも参加できます。歴史は古いですが、平成 21 年に新築移転が終わったばかりの新しい病院で是非研修を受けてください。

#### 「静岡医療センター心臓血管外科の特徴」

心臓血管外科では成人の心臓・大血管・末梢血管手術全般を取り扱っていますが、大動脈瘤手術では全国的にも有数の症例数を誇っています。外科専門医取得のための必須項目としての心臓血管症例はごく短期間で経験可能ですが、心臓血管手術の基本手技や診断についても身につけていただきたいので、3 ヶ月間以上の研修を予定してください。緊急手術が多く、肉体的には大変かもしれませんが、外科治療の醍醐味を満喫することができると思います。

### 沼津市立病院

外科指導医 4 名

消化器外科専門医 3 名、呼吸器外科専門医 1 名 心臓血管外科専門医 1 名

沼津市立病院は、病床数 500 床、平成 25 年 10 月現在で医師数 84 人（内指導医数 48 人）です。病院の特色としては、まず 3 次救急患者さんの受け入れが挙げられます。救命救急センターには専従の救急専門医が常駐し、ドクターヘリによる遠方の救急重症患者さんを受け入れると共に、救急ワークステーションを併設して救命救急士の教育を盛んに行っています。研修医の先生方も

系統的な救急診療を学習することが可能であり、ICLS はもちろんのこと、外科系では JPETEC を院内で受講することができます。特色として次に挙げられることは、診療の機能分化を実感できる点です。当院は地域医療支援病院の指定を受けており、地方の急性期基幹病院として効率の良い医療とは何か？という問いを常に課題として診療を行っています。そして最後は電子カルテの運用です。今では当たり前になりつつありますが、ペーパーレス・フィルムレスを実現していますので、「情報の共有化」という言葉を実感できます。

また、後期研修では専門診療科の研修はもとより、希望に応じて他の診療科にまたがる横断的な研修も可能です。様々な大学医局出身の医師がいるので風通しが良く、居心地が良い病院です。

### 医療法人社団 秀峰会 川村病院

外科指導医 2 名

消化器外科専門医 2 名

当院は、2 次救急も受けております。外傷から急性腹症まで primary care を行っており、地域に密着した病院です。診断から治療まで担当しますが良性、悪性疾患手術で質の高い医療を目指しております。

良性疾患としては、内痔核、痔瘻、各種ヘルニアをはじめ、潰瘍性大腸炎、虫垂炎、胆石、穿孔性腹膜炎等を、また悪性疾患として胃、大腸、肝・胆・膵、及び乳腺の悪性腫瘍等を行っております。

最近は大腸癌では腹腔鏡手術の適応を広げ、その率は大幅にアップしています。小回りが利き、機動力を発揮し短期間での早期診断治療が出来るようになる事を目指しています。

### 富士市立中央病院

外科指導医 5 名

消化器外科専門医 3 名

富士市の中核病院である当病院の外科は、スタッフ 9 名および後期レジデント 2 名の合計 11 人による外科診療を行っています。鏡視下手術を中心とした消化器外科手術および呼吸器外科手術、乳腺手術などの外科手術以外に、救急医療、化学療法、緩和ケアにも積極的に携わっています。外来は 4~5 人体制で、外科病床数は 64 床です。富士市で完結する医療を理念として、地域医療に貢献することを目標にしています。



### 富士宮市立病院

外科指導医 4 名

消化器外科専門医 4 名、呼吸器外科専門医 1 名

当院は、15 万人の診療圏で唯一の総合病院であり、地域の 2 次医療ならびに高度医療を担う病院として 24 時間、365 日救急患者を受け入れています。そのため消化管穿孔、イレウス、虫垂炎、急性胆嚢炎などに代表される緊急手術の症例も豊富です。

静岡県地域がん連携推進病院にも指定されており、がんに対する手術（胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌等）に関しても積極的に取り組んでいます。

がんに対する手術、腹腔鏡手術、緊急手術など外科専門研修医にとって教育的な症例が多数経験

できる病院です。特に、胃癌・大腸癌・消化管穿孔・イレウス・虫垂炎・鼠径ヘルニアなど多くの症例で腹腔鏡手術を行っています。また、他科との垣根も低く連携が密であり、カンファレンスや講演会などを通し、様々な分野の知識も習得しうると思われます。

研修生活は、忙しいですが内容は充実しており、楽しく働きやすい病院です。

**国際医療福祉大学熱海病院**

**順天堂大学医学部附属静岡病院**

## 8. 病院群の実績（手術症例、平成 26 年 1 月～12 月末）

指定施設・関連施設

|              | 県立静岡がんセンター | 順天堂大学医学部附属静岡病院 | 岡村記念病院 | 静岡医療センター（外科・心臓血管外科） | 沼津市立病院 | 川村病院 ※ | 富士市立中央病院 | 富士宮市立病院 ※ | 熱海所記念病院 | 国際医療福祉大学熱海病院 ※ |
|--------------|------------|----------------|--------|---------------------|--------|--------|----------|-----------|---------|----------------|
| 消化管及び腹部内臓    | 1505       | —              | —      | 373                 | 472    | 192    | 555      | 311       | 130     | 115            |
| 乳腺           | 419        | —              | —      | 27                  | 64     | 21     | 39       | 55        | 10      | 5              |
| 呼吸器          | 365        | —              | —      | —                   | 110    | —      | 23       | 17        | 2       | 2              |
| 心臓・大血管       | —          | —              | 137    | 133                 | 92     | —      | —        | —         | —       | —              |
| 末梢血管         | —          | —              | 186    | 362                 | 15     | —      | 126      | —         | —       | —              |
| 頭頸部・体表・内分泌外科 | 393        | —              | —      | 123                 | 148    | 96     | 5        | 143       | 22      | 22             |
| 小児外科         | —          | —              | —      | 8                   | 162    | 2      | 12       | 10        | 2       | 1              |

※は平成 25 年実績

## 9 研修期間

3年間

## 10 プログラム参加者の要件

初期臨床研修を修了していること。

## 11 処遇

- 1) 身分
- 2) 給与
- 3) 健康保険等の福利厚生制度
- 4) 医師賠償責任保険
- 5) 休日等
- 6) 宿舎
- 7) 学会費用

原則として、研修する病院の規定に従う。

## 12 プログラム修了後の進路

- 1) 病院群への就職の機会を優先的に得られる
- 2) 関連する大学医局への入局へ推薦することが可能

## 13 プログラム運営委員（◎：プログラムリーダー）

◎静岡医療センター 院長 梅本琢也(1977年 岐阜大学医学部卒)

心臓血管外科医ですが、副院長として静岡医療センターの研修責任者もつとめており、プログラムリーダーとして各病院との連携についても調整させていただいています。外科専門医、心臓血管外科専門医ですが、集中治療認定医、日本輸血細胞治療学会認定医、脈管専門医でもあります。

成人の心臓・大血管・末梢血管手術を全般に取り扱っていますが、必須項目の経験はもちろん、心臓血管外科手術の基本手技や診断についても指導させていただきます。



静岡医療センター外科診療部長 角 泰廣(1988年 大阪医科大学卒)

資格：日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本肝胆膵外科学会評議員・高度技能指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定など

当科は虫垂炎、ヘルニアなどの低難易度の手術から食道癌、肝胆膵領域癌に至る高難易度の手術までのすべての一般・消化器外科の症例を扱っています。したがって外科系の研修を希望される先生方にはすこしずつステップアップして教育できるという環境を有しています。最初は専門性にこだわることなく修練を行い、徐々に専門性を重視した分野に進むのもよし、またすべてのことを万遍なく行いたいと望む人たちにも最適な病院であると自負しております。鏡視下手術も積極的に行っておりヘルニア、食道、胃、大腸、肝を現段階では行っていますが今後は臍にも拡大していく予定です。一緒に楽しく仕事をしてみませんか！



### 沼津市立病院 副院長 卜部憲和(1983年 千葉大学医学部卒)

認定資格：日本外科学会専門医・指導医、日本呼吸器外科学会指導医、呼吸器外科専門医等

沼津市立病院呼吸器外科の卜部と申します。千葉大学医学部を昭和58年に卒業し、平成3年から当院で働いています。呼吸器外科は外科とも呼吸器内科とも放射線科とも密接な関係を持つ診療科であり、縦よりも横のつながりが大切ですが、当院では横断的な診療を円滑にできる環境にあり、研修医の先生方には良い経験となると思います。また、扱う疾患も良性から悪性まで幅広くまんべんなく経験できることが当科の特徴の一つです。



後期研修医の皆さん、我々とともに地域医療の神髄を肌身で感じつつ専門医を目指して頑張りませんか。

### 沼津市立病院 診療部長 福長 徹(1986年 千葉大学医学部卒)

認定資格：日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本食道学会  
食道科認定医 など

沼津市立病院外科の福長です。沼津出身（沼津東高 75 回卒）、千葉大学医学部を昭和61年に卒業、平成10年から当院で働いています。当科では、消化器がん・乳がん等の悪性疾患から良性疾患まで、また小児外科領域や救急医療を含めた幅広く多彩な疾患の診断治療、周術期管理、術後フォローまですべてが経験可能です。開腹手術はもちろん、内視鏡外科手術（虫垂炎から食道がんや肝切除まで）にも積極的に取り組んでいる県下有数の施設です。消化器内科・放射線科など関係各科と連携しながら、「外科チーム」の一員として最新の医療を経験していただきますので、研修医の修練の場として、外科専門医に必要な知識・知恵・経験を得ることが可能です。



皆さん、一緒にがんばりましょう！

### 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器外科部長 大出泰久(1993年 浜松医科大学医学部卒)

認定資格：日本外科学会専門医・指導医、日本呼吸器外科学会評議員、呼吸器外科専門医、

日本胸部外科学会評議員、日本肺癌学会評議員、日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医 など

静岡県内の総合病院にて研修後、国立がん研究センター東病院レジデント等を経て、2002年5月より静岡がんセンター呼吸器外科に赴任。当科は呼吸器外科専門医合同委員会の認定修練基幹施設となっており、呼吸器外科手術は年間350例以上、肺癌根治切除は約250例行っています。完全鏡視下肺葉切除から気管支形成、パネコースト型肺癌に対する胸壁合併切除、導入化学放射線治療後の切除、悪性胸膜中皮腫に対する胸膜肺全摘術を含む集学的治療などの大きな手術まで幅広く、量・質ともに全国でもトップクラスの手術を行っています。肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍などを中心とした胸部悪性疾患に対する外科治療、外科腫瘍学、気管支鏡診断・治療を経験豊富な指導医のもと、存分に勉強できる環境にあります。



### 静岡県立静岡がんセンター 副院長兼肝・胆・膵外科部長 上坂克彦(1982年名古屋大学医学部卒)

資格等：日本外科学会指導医・代議員、日本消化器外科学会指導医・評議員・会誌編集委員、日本肝胆膵外科学会評議員・高度技能指導医・胆道癌診療ガイドライン改訂委員・胆道癌取扱い規約実務委員、日本胆道学会評議員・学術委員会会誌編集委員、日本膵臓学会膵癌診療ガイドライン改訂委員、など。

静岡がんセンター肝・胆・膵外科では、年間に肝胆膵がんの手術を 300 件以上行っており、わが国ではトップ3の施設の1つに数えられています。

腹腔鏡手術から高度進行癌に対する高難度手術（血管合併切除を伴う肝切除・膵切除、あるいは肝膵同時切除、など）まで、幅広い手術に取り組んでいます。同時に各種の臨床試験を積極的に行い、2013年には膵癌の術後補助化学療法としてのS-1の優位性を、多施設共同試験の主任研究施設として明らかにし報告しました。常に、消化器内科、内視鏡科、画像診断科、IVR科、放射線治療科等、関係する各科と連携をとり、合同カンファランスを通じて他職種チーム医療を展開しています。



### 静岡県立静岡がんセンター 胃外科部長 寺島雅典(1983年岩手医科大学医学部卒)

日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医・代議員、日本癌治療学会代議員・臨床試験登録医、日本臨床外科学会評議員、日本胃癌学会評議員、日本化学療法学会評議員、日本医療マネジメント学会評議員、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本内視鏡外科学会技術認定医（胃） 他

静岡がんセンター胃外科では年間に 400 件以上の胃癌手術を行っております。癌の進行程度に応じて、腹腔鏡手術から開腹手術、拡大手術まで、幅広い範囲で胃癌の手術に関して経験を積む事ができます。また、癌の治療に際しては、個々の症例に対して標準治療を提供する事が最も重要な点ですが、当院では内視鏡科、消化器内科と合同のカンファランスを通じて、最新の標準治療に関しても習熟する事が可能です。



### 静岡県立静岡がんセンター 食道外科部長 坪佐恭宏(1992年滋賀医科大学医学部卒業)

日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本食道学会評議員、日本食道学会食道科認定医、日本食道学会食道外科専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、食道外科専門医認定施設

専門は食道がんの外科治療。1995年より国立がんセンター中央病院外科レジデントとして勤務。2002年より静岡県立静岡がんセンター勤務。

食道外科では食道悪性腫瘍の手術を年間 40~50 件行っております。平成 26 年 1 月~12 月の手術総数は 54 件でそのうち食道切除再建術は 41 例でした。また胸腔鏡下手術は 15 例でした。これまで明らかにされてきた治療成績を元に作成した食道がん治療ガイドラインに沿って外科、内科、放射線治療の専門分野の医師の話し合いにより、病気の進行度に応じて内視鏡的治療、手術、抗がん剤治療、放射線治療などの治療方針を決定します。看護師やコメディカルとも意思統一して質の高いチーム医療を目指しています。



### 静岡県立静岡がんセンター 大腸外科部長 絹笠祐介(1998年 東京医科歯科大学医学部卒)

日本外科学会専門医。日本消化器外科学会専門医。大腸肛門学会専門医。日本内視鏡外科学会技術認定医。

専門は大腸がんの外科治療、腹腔鏡手術、骨盤解剖学。2001年より国立がんセンター中央病院勤務。2006年より県立静岡がんセンター勤務。2010年4月より同大腸外科部長。大腸外科では日本のトップ3に入る手術件数を、私を含め若きスタッフと全国から集まったレジデントでおこなっております。スタッフの多くは内視鏡外科学会技術認定医で、8割以上の大腸がん手術を腹腔鏡手術で行っています。ダヴィンチを使ったロボット手術においては日本のリーディングホスピタルとなっています。



### 岡村記念病院 院長 坂本泰三(1979年 岐阜大学医学部卒)

循環器科、心臓血管外科、心臓リハビリテーション科、麻酔科を標榜している循環器専門病院です。循環器科は冠動脈インターベンションや不整脈アブレーション治療を得意とし、それを中心に医療を行っております。心臓血管外科は、冠動脈-大動脈バイパス術後、弁形成などの開心術を年間150例行っております。後期研修は外科専門医を育てる研修ですから、当院では心臓以外の外科の研修は出来ませんので、心疾患症例が足りないときなどは、1ヶ月で10例ほどは経験できますので、研修生の皆さんにご協力できると思っております。気兼ねなくご相談ください。

### 富士宮市立病院 副院長 川辺昭浩(1987年 浜松医科大学卒業)

認定資格：日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、がん治療認定医、日本内視鏡外科学会評議員、日本ヘルニア学会評議員、日本臨床外科学会評議員

当院は、近隣に入院・手術を行う施設がないため、あらゆる疾患が昼夜を問わずやってきます。まさに第一線の医療現場であり、さまざまな症例を経験できます。350床と中規模のため、各科医師との垣根も低く、看護師やパラメディカルとの関係も良好でとても働きやすい病院だと思います。手術症例は豊富ですが、その1/3は緊急手術であり、やる気のある若い外科医にとってはとても勉強になると思います(年寄りには夜の手術に耐えられないので)。私自身研修医時代(2-3年目)当院で思う存分やらせていただき、外科医としての基礎を築くことができました。ぜひ、私達とともに、充実した素晴らしい外科医生活を満喫しましょう。



### 富士市立中央病院 外科部長 梶本徹也(1988年 東京慈恵会医科大学卒業)

日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会指導医、消化器がん学会治療認定医

当科では、鏡視下手術を積極的に導入しています。消化器外科領域以外では、呼吸器外科手術はほぼ全例胸腔鏡下に施行しています。今後も質の高い医療を追及していきます。

